

◎学校教育目標 □令和8年度重点目標

- ◎「未来に向かい **やさしく** **かしこく** **たくましく**
生きていこうとする児童の育成をめざす」
- 考動スイッチ ON! 「あいさつで、**たてよこつながり**、学び合おう」

豊かな人間性 (やさしく)：つながる力
～互いを認め合い支え合える子～

健やかな体 (たくましく)：自律する力
～健康な体でがんばりぬく子～

- 行動目標：「進んであいさつしよう！」
- ・校内研究「温かい聴き方 優しい話し方」でつながり、深める学習
 - ・個に応じた支援体制の充実

- 行動目標：「たてわり活動を活用しよう！」
- ・特別活動 たてわり (異学年) 活動の充実
 - ・運動会・そうじ・**たてわり班活動**・**異学年交流**
 - ・安全に関する指導の充実

資質・能力の育成 (かしこく)：乗り越える力・見通す力
～自分の考えをもち、問題を解決する子～

- 行動目標：「**学んだことをつなげて考え**、行動しよう！」
- ・生活科/総合的な学習 (体験活動・校外学習) を通した学びの充実・**全校学活**を通した学び合い

何ができるようになるか
◎学校教育の基本

- ・学習・体験したことを生かして学ぶことができる
- ・主体的に判断し、課題を解決することができる
- ・多様な考えを受け入れ、協働的に学び、自分の考えをよりよくすることができる

何が身に付いたか
◎学習評価を通じた学習指導の改善

- ・学習したことや体験したことを、次の学習活動と比べたり、つなげたりしている。
- ・状況が変化しても、主体的に判断し、課題解決の方法を見出している。
- ・自分の考えをもち、学び合うことを通して、自分の考えを広めようとしている。

子どもの実態

- ・素直に頑張ろうとする
- ・あいさつを返すことはよくできる。
- ・たてわりそうじなどのおかげで上級生への憧れが強い
- ・主体的に学習に取り組むことができるようになってきている。

児童の発達をどのように支援するか
◎配慮を必要とする児童への指導

- 個に応じたきめ細やかな指導
- ・ニーズを把握し、支援教育支援員、学習支援員、SCや関係機関と連携しながら適切な支援をする
- みんなでみんなを育てる意識と連携
- ・チーム津久井中央小として職員間の情報共有及び外部機関との連携による対応をする

目指す子どもの姿

- 互いを認め合い支え合える子
- ・進んであいさつができる
- 健康な体でがんばりぬく子
- ・たてわり活動を楽しむ・活かす・創る
- 自分の考えを持ち問題を解決する子
- ・学んだことを**つなげて考え行動**する

何を学ぶか
◎教育課程の編成

- ・基礎学力の定着 (漢字、四則計算、学習用語、語彙)
- ・特別活動や体験活動の充実による、望ましい集団やよりよい人間関係の構築
- ・地域のよさの発見
- ・地域/社会につながる課題解決能力 (シビックプライド)
- ・家庭と連携した学習習慣の確立

どのように学ぶか
◎教育課程の実施

- ・「**学びの基本**」「一人学び→交流→まとめ」を意識した授業
- ・「あたたかい聴き方、やさしい話し方」を基盤とした活動
- ・教育活動全体を通して「聴いて 考えて つなげる」の実施
- ・たてわり班活動、伝統を作り上げる活動、全校学活や体験活動の活用
- ・地域にある教材の積極的な活用
- ・家庭における自主学習の習慣化

実施するために何が必要か
◎指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 校内研究・研修の充実
- いじめ等に対する迅速かつ適切な初期対応及びチーム対応
- お互いを認め合う学級経営
- 授業改善による基礎学力の定着
- 支援教育の視点に基づいた児童理解と支援体制
- 特別活動 (たてわり活動・異学年交流)・体験活動 (校外学習) の充実
- 幼保連携・小中一貫教育 (キャリア教育・LDX) への取組
- 家庭・地域及び外部機関との情報共有及び連携・協働
- 子どもと向き合う時間の確保

安心・安全を守る

- ・認め合い、安心して過ごせる教室、学校 (人権尊重)
- ・安全教育・防災教育の充実

開かれた学校作り

- ・地域の人材、教材を生かした学校づくり
- ・学校便り、学級便り・HP 等による積極的な情報発信